

記入例

農業経営改善計画認定申請書（新規・再認定・変更）

農政課の窓口で受付された年月日を記入
令和〇年〇月〇日

○	安曇野市長 殿
	長野県知事 殿
	関東農政局長 殿
	農林水産大臣 殿

申請者	住所	安曇野市豊科6000		連絡先	090 - 0000 - 0000
	フリガナ	アツミノ タロウ	フリガナ		
	個人・法人名	安曇野 太郎	代表者氏名 (法人のみ)		
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和〇〇年〇月〇日			

連名による共同申請の場合は申請前に家族経営協定の締結が必要です

携帯又は固定のいずれか連絡が取りやすい方の電話番号を記入

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画							
① 農業経営体の営農活動の現状及び目標							
（1）営農類型							
現 状				目 標（R〇年）			
☒ 稲作 ☒ 麦類作 ☒ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物（ ） ☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産（ ）				☒ 稲作 ☒ 麦類作 ☒ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物（ ） ☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産（ ）			
（2）農業経営の現状及びその改善に関する目標							
	現 状	目 標（R〇年）		現 状	目 標（R〇年）	主たる従事者 人数	
年間所得	463万円	520万円	年間労働時間	2,000時間	2,000時間	現 状	目 標
主たる従事者1人 当たりの年間所得	463万円	520万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	2,000時間	2,000時間	1 人	1 人

・主たる農業従事者1人当たりの年間所得目標は、安曇野市の基本構想に照らし、500万円程度以上の年間所得が求められます
・収支計画書の数値と一致しているようご注意ください

主たる農業従事者は2000時間（年間250日）程度の労働が目安です

② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産										(2) 農畜産物の加工・販売その他の 関連・附帯事業（売上げ）		
作目・部門名 （耕 種）	現 状		目 標（RO年）		作目・部門名 （畜 産）	現 状		目 標（RO年）		事 業 内 容	現 状	目 標（RO年）
	作付面積 (a)	生産量 (kg)	作付面積 (a)	生産量 (kg)		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量			
										作業受託	100万円	100万円
水稻	600	実数記入	900	目標記入							万円	万円
小麦	370	実数記入	500	目標記入							万円	万円
大豆（後作）	350	実数記入	500	目標記入							万円	万円
											万円	万円
											万円	万円
											万円	万円
											万円	万円
合計	1,320		1,900								100万円	100万円

・収支計画書の数値と一致しているようご注意ください

作業受託（特定作業受託（下記※1）は含まない）
農産物加工販売（りんごジュース、いちごジャムなど）

(3) 農用地及び農業生産施設

ア 農用地						イ 農業生産施設							
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (RO年) (a)	種 別	所在地		規 模				
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (RO年)		
									棟	m ²	棟	m ²	
所有地	長野	安曇野	田	200	200	パイプハウス	長野	安曇野	4	500	6	750	
	長野	安曇野	畑	50	50	乾燥調製施設	長野	安曇野	1	150	1	150	
借入地	長野	安曇野	田	730	1,160								
その他													
経営面積合計				980	1,410	経営面積合計				5	650	7	900

5年後

5年後

特定作業受託(※1)をする農地の面積を記入
(※1)作物の主な基幹作業を受託し、申請者の販売名義と販売収入の処分権を有する作業受託です

・畜舎
・パイプハウス・鉄骨ハウスなど栽培育苗施設
・乾燥調製施設、果実選果作業所など

特定作業受託（※1）をする農地の面積を記入
（※1）作物の主な基幹作業を受託し、申請者の販売名義と販売収入の処分権を有する作業受託です

・畜舎
・パイプハウス・鉄骨ハウスなど栽培育苗施設
・乾燥調製施設、果実選果作業所など

③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置 ・現状：農地が分散している ・現状・措置：農地の集積・集約化による作業の効率化 ・農地の集積と集約化 ・生産の効率化やスマート農業の導入 ・栽培に関わる新技術の導入 ・省力省エネ技術を利用した生産管理の推進 ・有機農業の推進拡大など、より具体的に記入	④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置 ・現状：簡易簿記による青色申告 ・現状：複式簿記による経営管理 ・措置：研修会等に参加し、複式簿記を習得 ・簿記記帳等の会計処理 ・経営の役割分担 ・経営の法人化など ・税理士からの指導
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置 ・現状：特に給与・休みを定めていない ・目標：家族経営協定による給与制度、休日制の導入、就業時間の明確化 ・措置：家族経営協定の締結 家族経営協定を締結してる場合は、締結している旨を記入 ・就業規則等の整備・相続経営継承への取組み	⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置 ・③④⑤以外の取組等を記載 ・制度資金の融資を受ける予定があれば借入年度・資金種・借入額等を記載

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見 通 し (R○年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	1 人	見 通 し	0 人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	2 人	見 通 し	2 人
											延べ人数	現 状	40 人	見 通 し	60 人
安曇野 太郎	53	男	(代表者)	栽培管理	○	2,000	栽培管理	○	2,000						
安曇野 花子	50	女	妻	栽培・経理		2,000	栽培・経理		2,000						
安曇野 次郎	23	男	子	補助作業		160	補助作業		2,000						
安曇野 育男	77	男	父	補助作業		1,200			400						

5年後

・延べ人数は、国の定めにより1日8時間労働で換算してください

・換算例として1人を1日8時間で30日臨時雇用した場合は実人数1人で延べ人数30人となり、また1日4時間働く1人を30日臨時雇用した場合は、4時間×30日＝120時間÷8時間は15日となり実人数1人で延べ人数15人となります

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
トラクター 60PS	1台
乾燥機 50石	1台
田植機 8条植	1台

記入上の注意

- * 機械等は**性能・規格・規模等まで記入**してください。
- * 認定申請書の②(3)農用地及び農業生産施設のイ農業生産施設の欄に記載している施設の取得計画は、**本用紙への記載は不要です**。
- * 補助事業や融資事業を利用して取得する計画をお考えの方は特に記載が必要になりますのでご注意ください。

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3)農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)